

# 公明 こうめい

◆アニマルランドについて  
都市型の小さな動物園であるアニマルランドの課題の一つは、津波の長期浸水想定地域に位置しており、再整備計画策定の取り組みを求めました。

しかし、この装置は買い替え時に70万～100万円程度の高額で修理費用も自己負担であり、全国で装着者の費用負担や各地域の先進的事例もあり、本市で人工内耳の補助制度の推進を求めました。

◆アニマルランドについて

都市型の小さな動物園であるアニマルランドの課題の一つは、津波の長期浸水想定地域に位置しており、再整備計画策定の取り組みを求めました。

◆選挙行政について

中山間地域で生活する高齢者や障がい者が、選挙権を行使しやすい対応策の推進を求めまし

人工内耳は、聴覚障害があり補聴器での装用効果が不十分な方にに対する唯一の聴覚獲得の方法で、現在世界で最も普及している人工臓器の一つ。

市長は県との協議を踏まえ、連携中枢都市圏の圈域を全県にまで広げる構想を柱に進めていく方針を示しており、この構想の形成と事業推進の方針について市長に所見を伺いました。

◆連携中枢都市圏構想について  
市長が掲げる政策施策の事業推進で、消費税率引き上げの再延期による懸念内容、また、見直しをする基本計画での、中山間地域のモデル事業となる「土佐山百年構想」の事業展開を伺いました。

◆市長の政治姿勢  
（質問内容は、以下の通り）

◆選挙行政について  
伊藤弘幸議員は、総括方式で次のように質問をしました。

## ◆若者の政策形成過程への参画

質問を行ひ

発行所／高知市議会公明党  
住 所／〒780-0870  
高知市本町4丁目1番24号  
TEL:088-823-9403  
FAX:088-871-2485

2016年(平成28年)8月1日 第34号

高知市議会 KOMETO 公明党

八、二十一

第456回

## 高知市 議会 定例会

## 生活者の視点で重点課題に迫る!!



やまね たかひろ  
**山根 堂宏 議員**



いとう ひろゆき  
伊藤 弘幸 議員



おおくぼたかし  
**大久保尊司** 議員

◆ AED（自動対外式除細動器）の設置について  
新たな進展が見えないことから、再度質問を  
し、今後の計画的なスケジュールを聞きました。  
執行部からは、ふれあいセンターやコミュニ  
ティセンターは、災害時の指定避難所としての  
位置づけと、市民の皆さまが利用する施設で、  
万が一の場合に対応できるよう、AEDの設置  
が必要であり、設置に向けたスケジュールにつ  
いては年次計画を立て、「全センター」に配備  
できるよう順次取り組み、さらに救命講習を実  
施するなどの救命活動の習熟に向けた取り組み  
が必要だと答弁を得ました。

今後の広聴・広報の取り組み等を通じて若者の主体的な政策形成過程への参画を推進して参ります。

◆自主防災組織の結成率について  
新たな方策として、今年度から大学の防災サークルなど大学生を派遣し、地域での防災活動の担い手不足の解消を図ることを目的とした「地域防災活動担い手活動支援事業」を実施するとの答弁と共に、複数の自主防災が小学校単位で集まる「連合会」が結成され、自主防災間の情報共有や活動の活性化を図つていく方針を示しました。

◆ 「食品ロス」削減について  
問　家庭やレストラン・ホテル等での宴会場で、まだ食べられるのに破棄されてしまう「食品ロス」削減の具体的な取り組みを問う。

答　食品ロスの削減を進めていく事は、生ごみなどの一般廃棄物抑制につながることであり、焼却処理場の減少にもつながることから、温室効果ガスの排出制御にも貢献することになります。

今後の具体的な取り組みとしましては、まず本市としての啓発に向けたリーフレット等を作成し、市のホームページやあかるいまちへの掲載をはじめ、学習会とともに、ごみ減量にむけた出前講座及びごみ懇談会などの機会を積極的に活用して、食品ロス削減に努めます。

**答** 高知市として、住宅耐震改修の促進をどのように位置づけているのか。

**答** 「揺れから命を守る対策」の原点と位置づけ県と市が連携し、さらなる加速化に取り組んでいく。

**問** 現在倒壊のおそれがあるとされている昭和56年以前に建築された木造住宅の戸数と、その耐震化率を伺う。

**答** 高知市には3万7千棟あり、耐震化率は62%である。

**問** 高知市の住宅耐震化目標は、平成28年度90%であるにも関わらず、62%は余りにも低すぎる点を指摘し、併せて高知県が平成28年度から予算化している上乗せ耐震改修補助制度の活用を市長に迫った。

**答** 現状の補助金の「代理受領制度」を今年10月から導入するようとしている。

**問** 「代理受領制度」は、住民にとってはメリットのある制度であるが、一方、業者にとっては耐震工事完了後、行政が直ちに補助金を支払わないと運転資金に乏しい業者にとつては経営を圧迫するおそれがある。前向きに検討する。

(詳細はホームページ参照)

**問** 高知市の住宅耐震化目標は、平成28年度90%であるにも関わらず、62%は余りにも低すぎる点を指摘し、併せて高知県が平成28年度から予算化している上乗せ耐震改修補助制度の活用を市長に迫った。

**答** 現状の補助金の「代理受領制度」を今年10月から導入するようとしている。

**問** 「代理受領制度」は、住民にとってはメ

**答** 高知市には3万7千棟あり、耐震化率は62%である。

**問** 高知市の住宅耐震化目標は、平成28年度90%であるにも関わらず、62%は余りにも低すぎる点を指摘し、併せて高知県が平成28年度から予算化している上乗せ耐震改修補助制度の活用を市長に迫った。

**答** 現状の補助金の「代理受領制度」を今

**問** 高知市として、住宅耐震改修の促進をどのように位置づけているのか。

**答** 「揺れから命を守る対策」の原点と位置づけ県と市が連携し、さらなる加速化に取り組んでいく。

**問** 現在倒壊のおそれがあるとされている昭和56年以前に建築された木造住宅の戸数と、その耐震化率を伺う。

**答** 高知市には3万7千棟あり、耐震化率は62%である。

**問** 高知市の住宅耐震化目標は、平成28年度90%であるにも関わらず、62%は余りにも低すぎる点を指摘し、併せて高知県が平成28年度から予算化している上乗せ耐震改修補助制度の活用を市長に迫った。

**答** 現状の補助金の「代理受領制度」を今



寺内 憲資 議員

### ◆耐震改修工事の促進について

寺内憲資議員は、次のとおり一問一答方式により市長に対し、個人質問を行いました。

## KSKキャラバン隊 5回目の結成日

高知市議会公明党では、市政報告の一環として、平成24年7月3日に「KSKキャラバン隊」を結成し、高知市を中心に広報宣伝活動を展開してきました。

「KSKキャラバン隊」は、【Kochi Shigikai Komeito】の略称で、メンバーは高知市議会公明党の議員です。

KSKは、K=高知、S=市民の皆様の、K=幸福・健康・向上、を目指しています。

今後とも「KSKキャラバン隊」に皆様の応援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



### 常任委員会・ 議会運営委員会

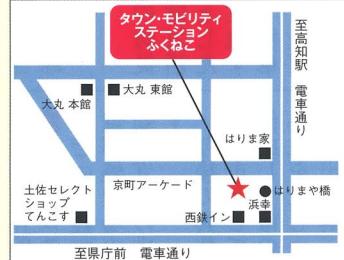
総務常任委員会  
○寺内 憲資  
建設環境常任委員会  
○西森 美和  
大久保尊司  
厚生常任委員会  
高木 妙  
伊藤 弘幸  
経済文教常任委員会  
山根 堂宏  
議会運営委員会  
伊藤 弘幸  
(○委員長 ○副委員長)

### タウン・モビリティステーション「ふくねこ」

高知市のタウン・モビリティステーション「ふくねこ」が開所して1年。誰もが自由に移動できる権利を保障するために、「NPO法人福祉住環境ネットワークこうち」により運営をされています。

皆様のご利用をお待ちしております。

- 場 所…高知市はりまや町1丁目1番24号  
(京町アーケード内)
- 利用日時…毎週木曜日から日曜日  
(午前11時～午後4時)
- 利 用 料…ボランティアの付き添い(1回500円)
- 利 用 申 込…希望日の1週間前
- 無 焹 貸 出…車椅子・シルバーカー・ベビーカーの貸し出しは無料  
(利用場所は中心商店街)



2001年6月、「国民の祝日に関する法律」の一部を改正する法律が成立(いわゆる「ハッピーマンデー制度」)したことにより、2003年から7月の第3月曜日が「海の日」となり、三連休化しました。

今年、2016年8月11日は、「山の日」として新たに国民の祝日となりました。

せつかくの休日は有効的に活用し、家族や友人と交友を深める日、また、疲れた体を癒し、次なる活力につながる「自分に日」にしたいものであります。(ガツツ)

寺内憲資議員は、次のとおり一問一答方式により市長に対し、個人質問を行いました。

寺内憲資議員は、次のとおり一問一答方式により市長に対し、個人質問を行いました。